

成城の風



発行者 青少年成城地区委員会会長 辻紀子 / 事務局 成城まちづくりセンター TEL3482-1348

子どもたちとともに地域に生きる

約 40 名の大人たちが集まって、子どもたちが地域で健やかに成長できるように様々な事業を行っているのが私たちの委員会です。赤いエプロンは私たちの目印。子どもたちの笑顔や明るい挨拶が私たちの活動の原動力です。

ヤマモモの実を食べる

子どもたちは丸い木の実が大好き。今年度の素まっぷ隊ワークショップ「たんけん・はっけん成城のまち」は、青天の 6 月 25 日に開催。今回は「みつけよう、みどりのまち成城のみどりづくりの大ひみつ」がテーマ。スタートが砧支所、ゴールが成城 4 丁目トラスト・ビジターセンターの道を子ども・大人総勢 65 名が参加。4 つの隊に分かれて白地図を持ち、まちの木々や生垣の姿などをチェックして歩いた。さて、先発の隊がゴールしても、後続の隊がなかなか到着しない。聞けばなるほど。途中のお宅になっていたヤマモモの実をごちそうになっていたという。後続の隊の子どもたちは、ヤマモモ美味しかったと興奮気味。到着してからの地図作りにもヤマモモを記入する子どもたちが多かった。葉っぱも花も好きだが、実となると子供たちには格別。これまでも、どんぐりやムクロジの実、松ボックリなどもよく拾って歩いたものだ。子どもたちはなぜ丸い木の実が大好きなのだろうか？（石神）

素まっぷ隊



野外活動

マイタケ (my 竹) の行列



「探検するぞー！オー！」と元気な掛け声から、野外活動が始まりました。祖師谷公園内の自然探索とクイズラリーの後、木の実パチンコや小枝ストラップ作りなど、自然と触れ合いながら遊びました。「竹切り体験」では、身長程の長さに切られた竹を、千歳小おやじの会の方と一緒に 10cm 程度に切り出します。子どもたちは、他のコーナーと同様に手ぶらで竹切りの順番待ちをしていました。しばらくしてもう一度様子を見に行ってみると、そこにはマイタケ (my 竹) を手にした子どもたちの行列が！！積んである長い竹の中から自分でこれだと思ふ竹を探し出し、それぞれ手に持って並んでいたのです。竹の長さや太さにより、コップにしたり花瓶にしたりペン立てにしたりと、想像が膨らんでいったのでしょう。慣れないノコギリを使って、汗だくになって手にしたマイタケ (my 竹) グッズ。宝物を手にした子どもたちは、笑顔で輝いていました！（早船）



ただ今準備中!

育成部は地域の若者(主に中学生)とともに、地区委員会開催のイベントに参加しています。今年度も砧中・千歳中から年間スタッフを募集し、定期的な集まりの場で、活動アイデアなどを話し合いながら親睦を深めました。

メインイベントのせいじょう地域文化祭では、実行委員として活動し、当日スタッフの中学生・高校生・大学生(総勢70名)と一緒に文化祭を盛り上げてくれました。若い力は、頼もしく、甘い香りのクレープ売り場では、中身に入れるりんご100個弱を甘煮にし、美味しいクレープにくるくるっと巻いてサッと渡し、必ず一言『ありがとうございます!』。ステージでは、司会、進行補助、音響、照明に真剣に取り組み、キッズコーナーでは、子どもたちを楽しませるため事前に何度も打合せ。何事にも真摯に取り組む姿は、地域文化祭にさわやかな風を吹かせてくれました。(奥田)



せいじょう地域文化祭

はじめまして、みたらし団子です♪



みたらし団子



わたあめ



フランクフルト



クレープ



看板作り!



風船をぶくらますよ!

もぎ店

もぎ店で初の試みのみたらし団子は、中学生スタッフから出た企画でした。上新粉に熱湯を入れてこねるため、大人の委員とは違い、まだ皮膚の薄い中学生には、熱くて大変そうでしたし、ベトベトして粉がかなり手につくので、お団子の形にするのに苦労していました。でも、作っていくうちにコツをつかんだようで、手早くお団子を作れるようになっていきました。

試食会では数もそれほど多くなかったのですが、慣れてくると時間もかからずに出たのですが、文化祭当日は、2000個という作っても作っても作っても終わらない数にみんな悪戦苦闘していました。でも、そんなみんなの努力の甲斐あって、もぎ店の中で一番早く売り切れになりました。

私は今年初めて文化祭に参加させていただいたのですが、多くの方が事前準備から関わっている事に驚きました。当日もたくさんの中生や大人が加わり、声を出して呼び込みするなど活気があってよかったです。私もその一員として参加させていただいて、とても楽しかったです。(矢尾板)

ようこそ「ワンダーランド in せいじょう」へ♪

会場

テーマは『ワンダーランド in せいじょう』です。不思議の国のお茶会をイメージし、テーマカラーを赤、白、黒にして、ティーカップやハート、白うさぎさん、時計等のモチーフを作って、会場を装飾しました。また近隣の学校の児童・生徒さんに毎年描いてもらっているポスターを会場に飾りました。

今回初めての試みで、仮装した3人を探してシールを集めるスタンプラリーを行いました。会場内を楽しそうに3人を探す子どもたちの笑顔が印象的でした。

そして、各コーナーでテキパキと活躍している中学生スタッフの行動力にはとても驚かされました。会場装飾では風船の準備を手伝っていただきました。前年も手伝ってくれたとのこと、手際よく笑顔で作業している中学生をととても頼もしく思いました。この4月から中学生になる私の娘のスタッフ姿を期待してしまいました。たくさんの笑顔に出会えた文化祭に感謝しています。(豊田)

キッズコーナーって知ってる？ 知ってる～！

キッズコーナー

親「キッズコーナーって何があったか知ってる？」
 子「知ってる～！ボーリング、わりばし鉄砲、ビーズアクセサリがあったよ。」
 親「そのボーリングって全部手作りだったって知ってる？」
 子「知ってる～！中学生のお兄さん、お姉さんたちが作ってくれたんだよね。
 それにピンを倒したらお菓子をもらえたんだよ～。」
 親「わりばし鉄砲の作り方知ってる？」
 子「知ってる～！わりばしと輪ゴムだけで作れるんですよ。
 中学生のお兄さんたちが作ってくれた的当てゲーム楽しかったんだよ。」
 親「ビーズアクセサリって何を作れたか知ってる？」
 子「知ってる～！中学生のお姉さんたちが手伝ってくれて、ブレスレットや携
 帯ストラップを好きなビーズから選んで作れたんだよ。」
 親「中学生のお兄さん、お姉さんたちは勉強や部活で忙しいのに何ヶ月も前か
 ら準備してくれていたんだって。」
 子「私も中学生になったらお手伝いしたいな～。」(千歳小学校校外委員一同)



ビーズ!

ボーリング!



わりばし鉄砲!

目指せ! ステージのプロ!

ステージ

ステージチームは、総勢45名のプロ・素人混成集団。
 司会・照明・音響・設営・会場担当に分かれ、出演者が舞台上で輝けるようお手
 伝いをします。どの担当も、プロ・青少年地区委員らの大人と中学生の実行委
 員や当日スタッフがチームとなり、中学生が新しい体験ができるよう背中を押
 します。先生の指導ではなく、地域の大人と「おまつり」のステージを作り上
 げるために、責任が生まれます。緊張感や年齢相応の照れもある反面、やる気
 も新しい発想もあり、自然とお互いが支え合う良い関係性が生まれました。
 舞台は砧中吹奏楽部のファンファーレで始まり、バレエ・ダンス・バンド
 等演目が続き、千歳中吹奏楽部のクリスマスメドレーで締めくくられました。
 演目の間の数分間で、照明や音響・設営を整え、会場のお客様が入れ替わり、
 司会は次の準備をします。初顔合わせの混成集団とは思えない息の合った動
 きは、プロの力を借りながらも、素人集団の力は結束し、15団体の舞台を
 見事に支えることができ感激でした。(井出)



上手で準備
(かみて)



司会は下手
(しもて)

照明は2階から

音響は客席後方

千歳っ子まつり

明正小まつり

成城さくら児童館

ちいきこどもまつり

9月24日

10月22日

11月13日



平成28年度 青少年成城地区委員会 活動内容一覧

- 5月10日 総会 青少年成城地区委員会スタート
- 6月9日 第一回委員研修「子どもの頃の思い出～うれしかったこと、こわかったこと」
- 6月25日 素まっふ隊・子どもワークショップ
参加人数：子ども 25名（明正小6名、千歳小19名） 付き添い：18名
スタッフ：22名（学生スタッフ、地区委員、サポーター、講師、事務局他）
- 7月3日 野外活動「集まれ！自然たんけん隊！」
参加人数：子ども 58名（千歳小52名、明正小6名） 保護者：19名
スタッフ：53名（学生スタッフ、千歳小おやじの会、SNECS、地区委員、若葉会他）
- 7月13日 ミニ研修「ユートピアの流れをくむ成城のまちづくり」
講師：石神隆副会長
- 8月23日 ミニ研修「成城自治会の災害対策活動～みんなで災害対策訓練に参加しよう」
講師：法人格成城自治会災害対策プロジェクトチーム長 岩波桂三氏
- 10月13日 ミニ研修「個性？障害？見える？見えない？心の目が大切なのもかもしれませんね？」
講師：大橋志珠佳委員
- 11月16日 ミニ研修「つなげる人に、社会に、そして未来へ」
講師：子ども育成推進課・青少年健全育成支援委員・金指宣和氏
- 12月4日 せいじょう地域文化祭
来場者数：3300名 大人スタッフ：157名 学生スタッフ：68名
ステージ発表、もぎ店、キッズコーナー他
- 1月17日 ミニ研修「ミュージシャンはなぜPTA、地域活動にハマってしまったか？」
講師：坂出雅海委員
- 2月27日 第二回委員研修「地区委員としてできること～楽しくやろう地区委員」
講師：子ども文化村会長・青少年船橋地区委員会会長・佐藤三智子氏
子ども文化村副会長・青少年船橋地区委員会副会長・宮幸朱美氏
- 3月15日 平成28年度を振り返って
*その他各部会ごとのミーティング、事前準備など

共催事業

- 9月24日 千歳っ子まつり（割り箸鉄砲、芳香剤作りお手伝い）
- 10月22日 明正小まつり（無料わかめスープコーナー開設）
- 11月13日 さくら児童館ちいきこどもまつり（無料わかめスープコーナー開設）

【編集後記】



成城の桜並木もそろそろ花咲く準備を始めています。今年度の青少年成城地区委員会もすべての日程について無事に活動を終えることができました。地域の皆さまのご協力に感謝するとともに、来年度の活動も有意義なものとなりますように今後ともよろしく願いいたします。

（広報部：坂出、田代、小林、橋本、谷羽）